

# つくし 地域多目的交流施設

■所在地	北海道札幌市中央区南19条西6丁目1-17	■木材使用量	39.0m <sup>3</sup>
■設置者	社会福祉法人 朔風	うち地域材	37.2m <sup>3</sup>
■構造	木造2階建	■使用樹種	構造 トドマツ、エゾマツ
■延床面積	126.88m <sup>2</sup>	内外装	カラマツ、トドマツ、スギ



## ◆施設の概要

本施設は、障がい者福祉施設ですが、利用者の活動スペースのみならず、積極的に地域住民に施設を開放し、道産材の魅力や木のぬくもりを見て、触れて、感じられる施設となっています。

また、暖房にはペレットストーブも使用しています。

## ◆工法等の特徴

構造形式は木造在来軸組工法で、道産トドマツの製材・集成材を構成部材として用いています。建築物の形状は、北側へ傾斜する片流れ屋根とし、高部である南側部分を2階建の構成、低部の北側部分を吹抜とし、上下階が空間的に一体となる断面構造としました。内装の壁ほぼ全面及び天井の一部を道産カラマツの羽目板で仕上げ、空間の連続性を表現しています。

また、この断面構成によって、自然光を十分に取り込み、明るい内部空間となっています。

外装は道南スギを一部に用いて、主たる外装材である金属製サイディングの無機質感との対比により、「木のぬくもり」をより効果的に表現する外観となっています。

## ◆整備に当たり苦慮したこと

構造材には道産集成材を使用したため、通常より製作期間を要し、建方に間に合うか不安なところもありました。また、基礎工事も想定より若干遅延しましたが、結果として間に合わせる事が出来ました。

床・屋根下地材は道産材の合板を在庫しているところが限られ、繁忙期とも重なり数量を確保するのに苦慮しました。また、内部壁・天井の一部がカラマツの羽目板貼の仕上げにしていますが、羽目板は受注生産のため、原材料の確保と端材を考慮した数量発注に苦労しました。

## ◆利用者の声

利用された方々が口を揃えて「木の匂いと木のぬくもりを感じる。」という感想をいただいております。また使用した木材の種類及び名称を木材に張ったことにより、木への関心が強くなったとの意見も寄せられております。つくし利用者も日中活動の場として使用しておりますが、広々としたスペースで今までできなかった運動や体操、リトミックを行うことが出来て、とても嬉しそうに活用しております。